

事業名	JR旧大社駅舎に於けるレトロモードショー開催事業
実施主体	企業組合 おもひで屋
県担当課	観光振興課

事業の成果

事業の目的 [観光交流]

- 単独では充分でない観光資源(大社駅)に何か(ショー)を加えれば、新たな魅力を持った観光資源になるということを出雲から発進したいと考えた。

事業の内容

- 重要文化財である旧大社駅本屋を活用した「おもひで屋レトロモードショー2006」の開催に向けて、舞台構想、シナリオ作成及び衣装の製作を行った。
- 時を歩んだ古い着物を素材にした新しいファッションショーを開催することで、地元の人には足下の豊かさを見直す事を提案し、また、県外客には歴史ある出雲のイメージアップを図り、観光客誘致に繋がる取り組みを行った。



目的の達成状況 [十分達成できた]

- 県外からの観光客についての周知が充分とはいえなかったが、県内からは西部や山間部からも大勢の来場があり、大社駅がこんなに素敵なおところだということを再認識したという声が多く聞かれた。

反省点・改善点 [特にない]

協働の効果

県との協働内容 [協働して実施した]

- 県内外へ向けての PR 活動。

県との協働効果 [概ね効果があった]

- 県内外へ向けての PR 活動には働きかけていただいたことが効果があり、県外から50名程度の集客、駅舎内(会場)は立ち見も出るほどの盛況だった。
- しかしながら地元客(大社)、地元(大社)のボランティアなどが少なく、地域づくり、地域振興につなげる方法が他にあったのではないかと…と反省点もある。

県への要望事項

- 県側に電話、メール等での相談は行ったが、出雲(実施主体)と松江(協働先)が離れており、直接会場で協議することなど出来ないのが残念だった。
- 直接の担当者が出雲総務事務所にいけると、もっと協働体制がとれたように思う。

反省点・改善点 [特にない]

市町村との協働 [協働して実施した]

- 会場の清掃(事前)など協力いただいた。

事業の継続

事業成果の活用 [活用されている]

- 大社駅舎でのショーの様子を HP 上で公開している。

事業の継続状況 [継続実施していない]

- たびたびショーをすることは財源がなく困難だが、島根の良い場所を探し、次なるショーを企画していくことを考えている。

協働による発展 [協働により発展できる]

- 県内の魅力ある建築物、空間を探し、そこをショーなどで演出する方法を考え、提供していくことで、多くの人に感動と地元文化の向上を目指していくことができる。

